

『もぐらはすごい』

アヤ井アキコ

アリス館



よくマンガ等で見かけるもぐらは、サングラスをかけて地面から顔を出していますが、実際は、一生のほとんどもを地下で生活するので、観察するのがとっても難しく、謎が多い動物だそうです。目にしても、まぶたは無く、薄い皮膚でおお

われていて、うっすら光を感じる程度。それでも、ミミズ等のエサを見つけたり、空気のゆれや地面のゆれを感じて危険を回避できるのは、鼻先にあるちいさなつぶつぶの「アイマー器官」のおかげ。(表紙の絵でも、鼻先の赤くなってる部分です) その他、毎日、体重の半分くらいのエサを食べるとか、

かなりの力持ちだとか(もぐらを女の子に例えたら、女の子がお相撲さん4人! を持ち上げるくらい)・・いやあすごい!

なわばり意識が強く、一匹でかなりの長さのトンネルを作ると紹介されています。緑地でも、こんもりとした土の山を見かけたら、その下に張りめぐらされたトンネルを想像してみてください。

もぐらが地上に出る、数少ない機会は、夏になるまえに子どもがおかあさんの巣から出ていく時だそうです。そんなチャンスに出会えるでしょうか・・。

(遠藤